

[概要]

本研究は、あわら市のミディトマトのブランドである「越のルビー」を対象に、イノベーションの普及過程を紐帯と社会関係資本を用いて分析した。

中田（2020）の先行研究を参考に、社会関係資本を「結束型/橋渡し型」に区分したパトナム（2006）「構造的」社会関係資本と「認知的」社会関係資本に区分したアブホフ

（1999）、Granovetter（1973）の紐帯の強弱の表現を用いて、あわら市の越のルビーを事例にとり、イノベーションが普及する過程を分析し紐帯と社会関係資本との関連を検討することを本研究の目的とした。その結果、本研究の対象地域では先駆的な農家のあとに続く農家は認知的かつ結束型の社会関係資本に属していることを指摘した。

キーワード:社会関係資本, 農業, イノベーション, 結束型/橋渡し型, 構造的/認知的